

進路だより

みお
～滞つくし～
宇都宮市立豊郷中学校

R2. 7月

NO.3

どんよりとした梅雨空が続く。気分も湿りがちな日々を過ごしていますが、ふと気が付くと、今年のカレンダーも残り半分となってきました。これをもう半分と感じるか、まだ半分と感じているかで、これからの一日の過ごし方が、少し変わってくるかもしれません。

始まりました、キャリア・パスポート ～キャリア・パスポートとは～

2020年4月から、すべての小学校・中学校・高等学校で実施(開始)されました。これは、児童・生徒が小学校から高等学校までの12年間のキャリア教育に関するさまざまな活動(職業人講話、職場体験学習、高校一日体験学習、学期末・学年末の振り返りなど)について、学級活動や総合的な学習の時間を中心として「自分の取り組み状況や学習状況を見通したり振り返りながら、自分の変容や成長を自己評価できるよう工夫されたワークシートなどをファイルに蓄積したもの(ポートフォリオ)」と表現されます。

これまで学校ではさまざまな活動のあとに「振り返り」は行っていました。生徒の皆さんも作文用紙に書いたり、振り返りプリントに書いて担任の先生に提出した経験はたくさんあると思います。

では、今年度から何が変わるのでしょうか。簡単にまとめると、次の2点になると思います。

① これまでの「振り返り」はその都度行っていたことが多く、「不連続」でしたが、今年度からはA4版ポケットファイルに蓄積(ポートフォリオ)することで、「連続(最長12年間の連続)」にして取り扱うという点。

② これまでの振り返りプリント等は、生徒の皆さんが記入した後、担任の先生がコメント等を記入したり、掲示したりしていましたが、今年度からは、保護者の方にもコメントを記入していただき、担任の先生と保護者の方のコメントを含めてさらに自分自身を振り返る(生き方や進路について考える)という点。

このように、今年度からの「学習指導要領」では「振り返り」が重視され、これが校種間を越えて積み重ねられていくことが大切なのです。

「何を学んだか」とともに「何ができるようになったか」を日々の授業を通してできるようになることが、キャリア・パスポートを書くうえでの基盤となります。

年間約4回のキャリア・パスポート用ワークシート等への保護者の皆様のコメント記入にご協力をよろしくお願い申し上げます。

3D → 3Yへ

3Dと聞いて「何? 3次元がどうかしたの?」なんて思った人はいませんか? この3Dは、実は皆さんがついうっかり口にしてしまう言葉のことです。

それは、Dōse・Datte・Demo の3つです。

「どおせ」「だって」「でも」 心あたりはありませんか?

今日一日、自分がこの言葉を言っていないか、意識してみてください。

例えばこんな時。

「もう少しがんばってみたら?」 → 「どうせやっただってできないよ。」

「どうして宿題やってないの?」 → 「だって、他にやることがたくさんあったんだもん。」

「こんな風にやってみたら?」 → 「いいね。でも、何かめんどくさいなあ。でも、どうしようかなあ。でも……でも……」

こうしてみると、何ともマイナス思考の言い訳だらけ、自分を信じていないような気がしませんか?

ふと、あの有名な戦国武将、武田信玄の言葉を思い出しました。

一生懸命だと
中途半端だと
いい加減だと
言い訳が出る
愚痴が出る
知恵が出る

一生懸命とは、命をかけて事に当たることです。命がけでやれば、何が何でもやろうとするので、知恵をしぼり、知恵が出るものです。

中途半端とは、態度などが徹底せず、どっちつかずの状態であることです。態度に一貫性がなければ、自分を棚上げして、不満ばかりがでてくるので、愚痴しか出ないわけです。

いい加減とは、仕事などを最後までやり遂げずに途中で投げ出すさまのことです。途中で投げ出せば、弁解して責任転嫁をたかたかしてしましますね。

そこで、今度は、3Yを実践してみようではないか?

3Yとは、Yosi・Yaruzo・Yorokonde です。
「よし」「やるぞ」「よろこんで」

3Dのことばが出そうになったら、ちょっと飲み込んで、3Yの一言を口にしてみてください。何かが変わるかもしれません!!